

和楽器ユニットおとぎ みやこ風雅草紙コンサート

vol.5

平成29年 7月23日(日)
開演14時 (13時30分開場/16時頃終演予定)

予定プログラム 都合により変更になる場合もあります。
ご了承ください。

【第一部】

●「四人の律動」

作曲：木場大輔

● 箏・尺八二重奏「上弦の曲」

作曲：沢井忠夫

● 胡弓・琵琶二重奏「残照の陣」

作曲：木場大輔

●「宵待草」

作曲：多忠亮 / 編曲：木場大輔

●「風に舞いし夕」 ゆうべ

作曲：木場大輔

【第二部】

● 語りと和楽器による音楽劇『つう』～夕鶴より～ —乙女文楽と共に—

脚本・演奏：おとぎ(原脚本：吹田芸術協会 長田正雄)

メインテーマ作曲：木場大輔

乙女文楽：桐竹蘭紗也(客演)

朗読：安田知博 / 琵琶語り：川村旭芳

【ゲスト】
桐竹 蘭紗也
(乙女文楽)



安田 知博
(尺八・篠笛・朗読)

木場 大輔
(胡弓) 作編曲

川村 旭芳
(筑前琵琶・語り)

折本 慶太
(箏・十七絃ほか)

京都駅前

会場：龍谷大学 **響都ホール** 校友会館

JR京都駅「八条東口」南むかい(地下改札より直結)
アバンティ9階(店内東側エレベータをご利用下さい)

〒601-8003 京都市南区東九条西山王町 31 Tel: 075-671-5670

料金
全自由席

前売 2,500円 / 当日 3,000円

※未就学児のご入場はご遠慮下さい

チケットお求め
お問合せ

・おとぎ事務局 Tel: 078-341-3685/4868
info@kyokuho-biwagaku.jp
・おとぎ公式サイト <http://otogi.iza-yoi.net/>



筑前琵琶・胡弓・箏・尺八などの演奏家四人によって結成されたユニット。

おとぎ

優美な音色で様々な情感に訴える和楽器の魅力や、現代人にも親しみやすいアレンジで表現するスタイルは、若者からシニアまでファン層が幅広い。八千代座(熊本県)、内子座(愛媛県)、弁天座(高知県)など、全国の芝居小屋での公演にも力を入れているほか、関西では「風雅草紙コンサート」と題した公演を2011年より毎年開催。2014年7月、結成十周年記念コンサートを奈良にて開催し、「組曲 古事記」(作曲:木場大輔/歌詞:川村旭芳)を発表。朗読と琵琶語りを中心にした音楽劇も創作・上演している。

■アルバムCD発売 『音戯箱』(2007年5月)・『音戯箱II』(2009年3月)・『音戯紀行』(2013年7月)

おとぎ公式サイト <http://otogi.iza-yoi.net/>

川村 旭芳

Kyokuho KAWAMURA

(筑前琵琶・歌・語り/おとぎ代表)

神戸市出身在住。筑前琵琶日本旭会 総師範故二代柴田旭堂師のファンだった母の勧めで8歳の頃、師に入門。独奏の弾き語りを活動の中心に据えつつ、他分野との共演にも力を注ぐ。古典の琵琶曲を継承しながら、新作の創作にも取り組み、阪神・淡路大震災の追悼曲をはじめ、小浜市に伝わる韓国船遭難救護の史実、宇和島に伝わる平家の落武者伝説、《新聞の父》と呼ばれるジョセフ・ヒコの一代記ほか、母川村素子の作詞による作品も発表。1998年～2010年 和楽器オーケストラ 邦楽合奏団「鼎」(KANAЕ)所属。2011年CD『源平一ノ谷合戦』および『川村旭芳作品集～母娘合作集～』発売。筑前琵琶日本旭会 師範。門人会「筑前琵琶川村旭芳会」主宰。NHK FM「邦楽のひとつき」出演。

【川村旭芳 公式サイト】

<http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>



木場 大輔

Daisuke KIBA

(胡弓/作編曲)

淡路島出身。甲陽音楽学院にて音楽理論とピアノを学ぶ。古典胡弓を原一男師に師事。一方で文楽、風の盆、尾張万歳など日本各地で伝わる胡弓の奏法を独自に研究。2009年映画「カムイ外伝」にて演奏と出演。2011年NHK Eテレ「にっぽんの芸能 花鳥風月堂」に出演。2014年吉田兄弟全国ツアーに参加。NHK FM「邦楽ジョッキー」に出演。2015年映画「駆込み女と駆出し男」にて演奏。2015年と2016年、NHK WORLD【Blends】に出演、全世界で放映。江戸時代より伝わる胡弓の伝統を尊重しつつも、四絃胡弓の開発、各種ユニット活動など、演奏と作曲両面より胡弓の可能性を追求し幅広く活動を展開している。門弟の会「絹擦会」を東京・横浜・大阪・高知にて主宰。

【木場大輔 公式サイト】

<http://yuzuruha.net/>



安田 知博

Tomohiro YASUDA

(尺八・篠笛・朗読)

熊本県山鹿市出身、京都市在住。10歳より尺八を始める。21歳で都山流師範となる(蜂山と号する)。さらに、石川利光師に師事し、古典本曲と琴古流を学ぶ。熊本で開催される「長谷校校記念全国邦楽コンクール」において2003年および2005年優秀賞を2度受賞。故郷 熊本県山鹿市の八千代座をはじめ、各地で自主公演を開催するほか、小中学校でのコンサートや和楽器授業にも積極的に取り組んでいる。ナレーターとしては、盲学校在学中に、全国高校放送コンテストの朗読・アナウンス部門で3年連続優勝。第70回記念選抜高校野球大会で式典アナウンス。現在、NHK Eテレ「バリバラ」で、副音声のナレーションを担当中。



折本 慶太

Keita ORIMOTO

(箏・十七絃・二十絃・三味線・尺八)

愛媛県出身、大阪市在住。1993年より尺八を橋本岳人山師に師事。1994年より箏・三絃を生田流新絃社二代家元 狩谷春樹師に師事。1997年 都山流尺八大阪府コンクール1位受賞。2001年 NHK 邦楽技能者育成会第46期卒業。同年より現在まで「舞太鼓あすか組」のコンサートツアーに参加。2003年より十七絃箏・二十絃箏を宮越圭子師に師事。2006年生田流新絃社二代家元 狩谷春樹と、山本春亜(亜美)と共に、「アンサンブル邦」を結成。CD『めぐりあわせ』(2011年)発売。2008年龍笛・笙とのユニット「トラロ会」を結成。CD『天越ゆる道』(2011年)、『道しるべ』(2014年)発売。尺八・箏・十七絃・二十絃・三味線奏者として、国内外で多数の公演に出演。現在、都山流尺八師範(折本 岳慶山)。生田流箏曲新絃社 蒼竜軒(折本 大人樹)。神戸薬科大学箏曲部顧問。ソルファ音楽院講師。

ゲスト

桐竹 繭紗也

Masaya KIRITAKE

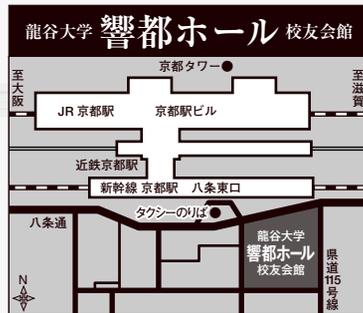
(乙女文楽)



淡路島出身。人形劇団クラルテ退団後、以前から取り組んでいた「乙女文楽」の活動を始める。人形操作は、吉田光子氏(腕金式)の手ほどきを受け、桐竹政子師(胴金式)に師事する。日本舞踊を藤間勘二郎師に師事。アジア・カルチュラル・カウンシルのフェローシップを受け、インドネシア、アメリカ、香港、台湾で公演。イタリア、スイス、ドイツ、トルコ等、海外公演も多数行い、消滅の危機にある「乙女文楽」を生きた芸能として存在させるべく、古典をベースに、様々なジャンルとのコラボレーションに取り組んでいる。

【桐竹繭紗也 公式サイト】

<http://otome-bunraku.jp/>



JR京都駅「八条東口」南むかい(地下改札より直結)
アバンティ9階(店内東側エレベータをご利用下さい)